

干潟観察会の記録

参加者：沖縄市立教育研究所 適応指導教室「すだち」

実施日：令和3年7月8日（木）

天 気：はれ

講 師：佐藤 寛之 先生

海日和なお天気の中、すだち教室の生徒さんたちと干潟の観察会を行いました。

まずは恒例のオキナワハクセンシオマネキを観察し、海岸植物のモンパノキの下で講師の先生のお話を聞きます。今年はどんな生き物に会えるかな？

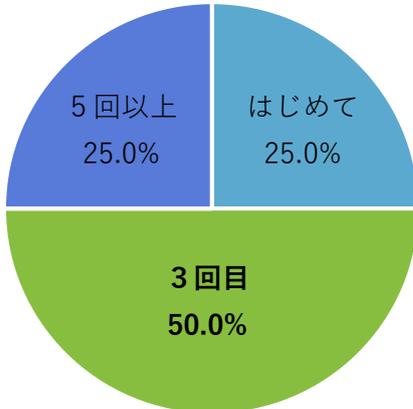
観察している間にも潮がどんどん引いていき、干潟が広がっていきます。地面から水が5cmもないところで、オキナワフグやハナオコゼなどの魚を見つけました。ハナオコゼは、ホンダワラ類の海藻とそっくりな見た目をしていて、これは、海面を漂う流れ藻に身を隠すためだそうです。引率の先生も生徒さんと一緒に石をひっくり返して、タイワンガザミやリュウキュウコメツキガニなど、色々なカニを見つけました。そろそろ岸に戻ろうと歩き始めたところで、ここではあまり見ないルリマダラシオマネキを発見。最後にみんなでじっくりと、美しい^{るりいろ}瑠璃色の甲羅とオレンジ色のハサミを観察して楽しみました。



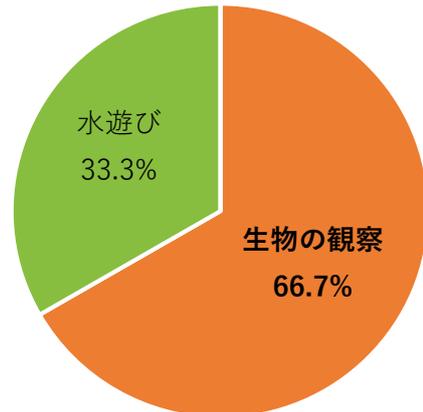
アンケート結果

参加してくれたすだち教室のみなさんにアンケートに回答してもらいました。

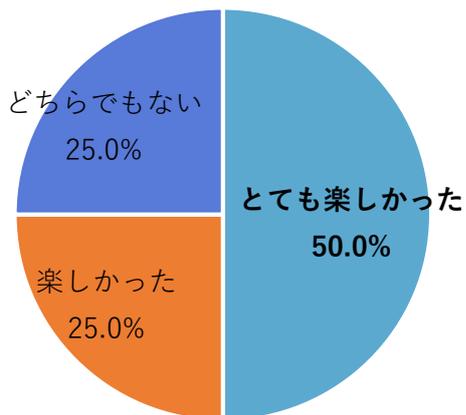
Q1. 今まで、泡瀬干潟に行ったことはありますか？



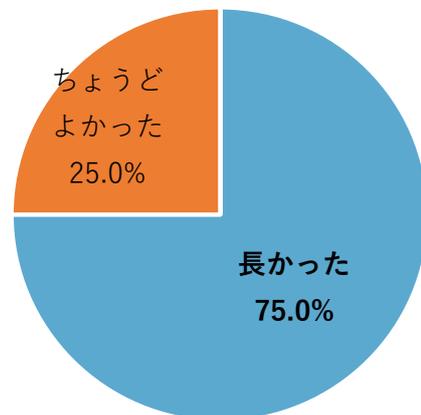
Q2. 今まで泡瀬干潟に行ったことがある人は、干潟に何をしに行きましたか？（複数回答）



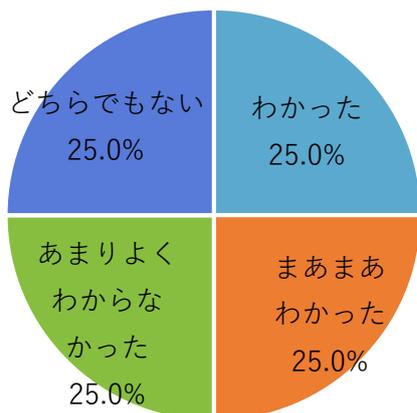
Q3. 観察会は楽しかったですか？



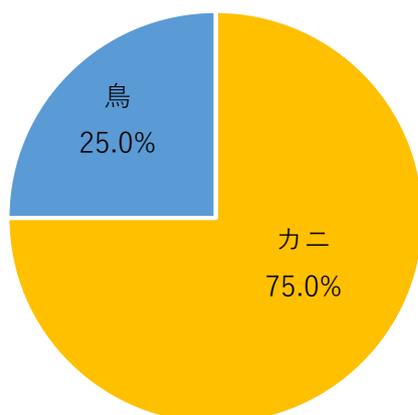
Q4. 観察会の長さは長かったですか？短かったですか？



Q5. 干潟の役割や干潟にいる生き物についてわかりましたか？



Q6. どのような生き物が印象に残りましたか？（複数回答）



Q7. 川や海をきれいにするため、気を付けていることはありますか？

また、そのためにどのような取り組みが必要だと思いますか？

- 気を付けていることはゴミはすてないでひろっている。きれいにするためには川や海のゴミをひろう必要があると思う。
- 川や海をきれいにするために僕はゴミを海や川などには捨てないようにしていて、ゴミがおちていればできるだけ拾うように気を付けています。川や海・自然を汚さないようにゴミ箱を増やしたり、1人1人がゴミを川や海に捨てないようにする取り組みが必要だと思います。
- ゴミすてない（海に）。
- プラスチックやお菓子のゴミなどを捨てずに、見かけたら拾うようにしています。

Q8. ふしぎに思ったことや、感想を教えてください。

- いろんなしゅるいの生き物がいてびっくりした。
- 干潟観察に行って干潟の生物にも人間と同じように家がありこのカニはこんな場所にいるよなどと話を聞いてその生物達を探すのも楽しかったですし、干潟にもカニやエビだけではなく魚・海藻・貝などのたくさんの生物がいたのでおもしろかったです。他にも風はどこから吹いているのかななどの話も聞いたのでより知識を深める事ができたのでいい体験になりました。
- たのしかった。
- カニやエビ、魚など様々な生き物を見て、とても楽しく過ごせました。海の生き物をもっと知りたいと思えて、また行きたいと考えました。

干潟にいる動物だけでなく、海岸植物の話や潮の満ち引き、風の話など、講師の先生のお話はとってもおもしろかったですね。何も無いように見える砂地を掘ると出てくるカニや貝、岩に引っ付いているアワモチや、水がほとんどないところにいるハゼやフグなど、普段の生活では出会わない生き物にたくさん会えたのではないのでしょうか。

時間や季節によっても出会える生き物が違うので、ぜひ友達や家族と遊びに行って、新しい発見を試してみてください。